

第25回 ヨウ素学会シンポジウム

- ◆ 日時 : 2022年9月13日(火) 9:00~17:45
- ◆ 場所 : オンライン
- ◆ 主催 : ヨウ素学会
- ◆ 共催 : 千葉大学、(公社)日本化学会、日本ヨウ素工業会
- ◆ 協賛 : (公社)日本薬学会、(公社)有機合成化学協会、
(公財)千葉県産業振興センター、(一社)千葉県製薬協会、千葉工業大学
千葉大学ソフト分子活性化研究センター

< I部~IV部 : 講演 >

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:00~9:05	挨拶	横田善行 会長		
I部 : 座長 (後藤 敬)					
①	9:05~9:45	招待講演	ハロゲンを使った窒素官能基化法の開拓	橋本卓也	千葉大院理・理研
休憩 (10分間)					
II部 : 座長 (加納博文海宝龍夫)					
②	9:55~10:10	一般講演	ヨウ化物シンチレータを利用した遠隔ガンマ線検出器の試作	○小玉翔平・柳瀬郁夫・武田博明	埼玉大院理工
③	10:10~10:25	一般講演	ヨウ化物中性子シンチレータの育成とその光学評価	○黒澤俊介・藤原千隼・山路晃広	東北大NICHe・東北大金研・阪大レーザ研
④	10:25~10:40	一般講演	アセトン・ヨウ素浴を用いたアルミナ薄膜電析手法の開発	○村田朋来・田中智雄	日特研開
⑤	10:40~10:55	一般講演	ヨウ素を含むハロゲン化金属ペロブスカイトのイオン移動と光誘起相分離現象	○山田泰裕・野村晃陽・雪上直輝	千葉大院理・千葉大理・千葉大融合理工
⑥	10:55~11:10	一般講演	ペロブスカイト太陽電池は $\text{PbI}_2(\text{MeNH}_3)_4$ からなる分子構造太陽電池; 分子モデリングに基づく理論検証	○柳田祥三・柳田真利・柳澤 将・瀬川浩司	阪大・物質材料研・琉球大・東大
III部 : ポスター発表 ショートスピーチ					
	11:15~12:05	23件×2分 : 50分			

< IV部 : ポスター発表、企業展示 > ブレイクアウトルームにて

*時 間 ; 展示 12:05~14:40 発表と質疑 (奇数番号のポスター13:00~13:50、偶数番号のポスター13:50~14:40)					
	ポスター発表	発表件数 39件	物理化学、有機化学、触媒化学、生物活性、利用、応用、実用品の開発と製品紹介 など		
	企業展示	ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示 (時間; 随時)			

< V部~VII部 : 講演 >

V部 : 座長 (高原 茂)					
⑦	14:50~15:30	招待講演	Giant 2D Single-Crystalline Metallic Nanosheets: Synthesis and Applications	Tae-Wook Kim	Jeonbuk National University
休憩 (10分間)					
VI部 : 座長 (森山克彦)					
⑧	15:40~15:55	一般講演	有機ボロン錯体の室温りん光特性と結晶構造に対するヨウ素置換位置の効果	○大垣拓也・舛見 笙・酒井敦史・阿利拓夢・松井康哲・佐藤寛泰・池田 浩	阪公大院工・阪公大RIMED・阪府大院工・リガク
⑨	15:55~16:10	一般講演	銅触媒下脱ホウ素ヨウ素化反応及びヒュスゲン環化付加反応の連続制御による放射性ヨウ素標識ペプチドの効率的合成	○近藤悠斗・木村寛之・小池澄奈・田村優衣・服部恭尚・安井裕之	京都薬大
⑩	16:10~16:25	一般講演	二官能性シクロオクテン触媒によるハロゲン化反応	○長野 倫・坂口莉久・松原誠二郎・浅野圭佑・浦口大輔	京大院工・北大触研
⑪	16:25~16:40	一般講演	キラルLewis塩基-ハロLewis酸協奏触媒を用いるポリプレノイドのエナンチオ選択的ヨード環化反応	○今 利真・辻 泰隆・堀部貴大・石原一彰	名大VBL・名大院工
休憩 (10分間)					
VII部 : 座長 (石原一彰)					
⑫	16:50~17:30	招待講演	Hypervalent Iodine(III)-Mediated Cyclizations: Stoichiometric, Catalytic & Unexpected	Kevin Cariou	CNRS・PSL University

※各講演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

17:30~17:45	ポスター賞発表
-------------	---------

ポスター発表プログラム

Zoom ブレイクアウトルーム開設 12:05 より

○ショートスピーチ(動画) 11:15~12:05 (メインセッション)

○発表 13:00~13:50 (奇数番号)、13:50~14:40 (偶数番号) (ブレイクアウトルーム)

番号前に「S」がある発表はショートスピーチ予定

No.	発表タイトル	○発表者・研究者	所属団体
S01	カチオン性ハロゲン結合供与体の収束的合成法の開発	○道井翔太・五所凌介・原口亮介	千葉工大院工
S02	ベタイン型ハロゲン結合供与体を用いた触媒的二酸化炭素固定化	○新妻謙汰・澤山公貴・原口亮介	千葉工大院工・千葉工大工
S03	カチオン性ハロゲン結合供与体の後期構造修飾法	○石川莉羽・早川俊輔・原口亮介	千葉工大院工
S04	高度にフッ素化されたカチオン性ハロゲン結合供与体の開発	○山崎朱夏・道井翔太・原口亮介	千葉工大院工
S05	テトラフルオロスルファニル基が誘引するハロゲン結合分子の設計	○羽田謙志郎・森聡一郎・住井裕司・柴田哲男	名工大院工
S06	ポリフルオロナフタレンのハロゲン化反応の開発：有機合成のデジタル化に向けて	○大塚尚哉・大田陽野・小谷駿輔・鈴木敏泰・武田和宏・榎山儀恵	分子研・総研大・静大工
S07	アルケンのヨウ素フッ素化反応によるヨウ化 2-フルオロアルキルの合成	○北村二雄・河本龍一・小山田重蔵	佐賀大理工
08	フルオラス合成法を利用した不安定ヨウ素化合物の合成法の開発	大藤 柚・海宝龍夫・宮本充彦・神原 将・○矢島知子	お茶女大院理・合同資源
S09	ヨウ化ペルフルオロアルキルとアミンのハロゲン結合に促進されるオレフィンへの可視光ペルフルオロアルキル化反応	○田上湖都・田中美邑・神原 将・矢島知子	お茶女大院理
10	ビスアミノイミノビナフトール亜鉛三核錯体を触媒とする分子間不斉ヨードエーテル化反応	○安間恵未・鈴木拓海・山中正浩・荒井孝義	千葉大院理・立教大理工
S11	環状エチニル超原子価ヨウ素化合物を用いる温和な条件での 4-イミダゾリジノン合成法の開発	○多田教浩・伊藤彰近	岐阜薬大
12	高活性キラルハロニウム塩触媒の開発	○小幡晃己・吉田泰志・三野 孝・坂本昌巳	千葉大院工
13	キラルスズ触媒を用いたアルケニルエステル類の不斉 α -シアノ化反応	○日向勇貴・渡邊孝道・緑川晃二・柳澤 章	千葉大院理・日宝化学
14	テトラフルオロヨードベンジル基を有する光学活性化合物の創製	○森山克彦・岡 紫・海宝龍夫	千葉大院理・合同資源・千葉大 CIRIC
S15	超原子価ヨウ素を用いた酸化的アリール転位による置換 1,3-テトラヒドロオキサジンの合成	○鈴木まみ・森山克彦	千葉大院理
S16	ジアリールメチレンアミノ基を有する超原子価ヨウ素反応剤を活用したアミドの α 位アミノ化	○川中一輝・清川謙介・南方聖司	阪大院工
S17	超原子価ヨウ素反応剤を用いたヘテロ原子を有する芳香族化合物とフェノチアジンとの C-N 結合形成反応	森本功治・○柳瀬伽奈・戸田健太郎・竹内仁志・土肥寿文・北 泰行	立命館大薬・立命館大総研

18	スズアルコキシド触媒を用いたアルケニルエステル類の α -アジド化反応	○出崎浩平・渡邊孝道・緑川晃二・柳澤 章	千葉大院理・日宝化学
19	スズアルコキシド触媒を用いたアルケニルエステル類の α -ヨウ素化反応	○齋藤悦志・渡邊孝道・緑川晃二・柳澤 章	千葉大理・日宝化学・千葉大院理
20	四ヨウ化チタン/トリメチルシリルヨージドを用いたシアノカルボニル化合物の環化反応によるピロールの合成	竹下敏暉・栃木駿哉・○八谷 巖	三重大院工
S21	生体適合触媒反応を指向したハロゲン化剤の開発	○吉田楽人・長野 倫・村田竜一・松原誠二郎・浅野圭佑・浦口大輔	京大院工・北大触研
22	ヨウ素を利用するベンゾチエノベンゾチオフェンの合成	○伊藤和樹・坂井修大・吉田和弘	千葉大院理
23	単離可能なヨウ化セレンニルを用いるアルケンのオキシセレン化およびアミノセレン化反応	○鍛野 哲・高橋絵里歌・石川 陽・菊島 潤・佐瀬祥平・後藤 敬	東工大理
S24	フラビン-ヨウ素触媒による酸素酸化的イミダゾ[1,5-a]ピリジンの合成	○福田竜己・飯田拓基	島根大総合理工・島根大院自然科学
S25	β -トリフルリルオキシ- α,α -ビス(フェニルヨードニオ)エチレン類の合成：三つの強力な電子求引性置換基を有するエチレンユニットの開発	○栗林兼続・松本拓也・国嶋崇隆	金沢大院医薬保
S26	擬環状 β -trifluorosulfonyloxy vinylbenziodoxolones の合成及び反応性	○吉村 祥・鈴木達哉・植木章晴・齊藤亜紀夫・Viktor V. Zhdankin・北村二雄	青森大薬・東農工大院工・UMD・佐賀大理工
S27	ヨウ素の内部重原子効果を利用した直接 $S_0 \rightarrow T_n$ 遷移による分子変換	○山崎敬太・矢澤智弘・長澤 翔・米山穂果・小高由子・中島誠也・根本哲宏	千葉大院薬・千葉大薬
28	有機フォトレドックス触媒を用いたオルトキノメチドの発生及び[4+2]環化付加反応	○野原渉矢・田中健太・星野雄二郎	横国大院環境情報・岡山大基礎研
29	ヨウ素を用いた有機溶媒中でのアニリンの重合	○駒場京花・米原卓哉・宮下 棕・熊井玲児・後藤博正	筑波大院数理解物質・高エネ研物構研
S30	光照射によりヨウ化水素を発生するヨウ化スルホニウム塩の開発	○朴 孝憲・文野和樹・小玉晋太郎・野元昭宏・小川昭弥	阪公大院工・阪府大院工
S31	ヨウ素化合物を結合した X 線視認性と生分解性を有するポリグリセロールアジペートエラストマーの開発	○大山裕也・黒川成貴・堀田 篤	慶応大理工
32	2-フェニル-1H-イミダゾ[1,2-a]ピリジ-4-ニウム-3-オラートおよび誘導体のヨウ素による電気伝導性発現	○秋山陽菜・赤染元浩・松本祥治	千葉大院工
S33	ヨウ素-ヨウ素相互作用による二置換型非対称有機半導体材料の分子配向制御	○羽佐田麻衣・松永 周・蓮見 翔・熊木大介・時任静士・片桐洋史	山形大院有機・山形大院理
S34	ハロゲン-ハロゲン相互作用を鍵とする非対称型有機半導体の分子配向制御と電荷輸送特性	○佐藤太一・蓮見 翔・松永 周・熊木大介・時任静士・片桐洋史	山形大院有機・山形大院理工

S35	CH ₃ NH ₃ PbI ₃ 単結晶の複素インピーダンス測定によるイオン移動の評価	○谷口 陸・山田泰裕・音賢一	千葉大院理
36	量子スピン液体候補物質としての三ヨウ化サマリウムの結晶育成と磁氣的性質	○石川 孟・栗原綾佑・矢島 健・浜根大輔・清水悠晴・榊原俊郎・松尾 晶・金道浩一	東大物性研・東理大
S37	ヨウ素、水素、遠赤外線の万病予防・治癒の理論検証	○柳田祥三・村上信行	阪大・M3 研究所・ホロス松戸クリニック
38	口腔咽喉薬に含まれるヨウ素などの有効成分における咽頭感染ウイルスおよび細菌の不活化効果	○中谷亜佑未・鳥井一宏・野崎 学・五味満裕・中嶋絵里・西田倫希・射本康夫	小林製薬・日本繊維製品品質技術センター
39	ポリソルベート 80 のヨウ素保持性評価とポリソルベート-ヨウ素複合体の抗菌活性	○山下柊季・矢野成和・浅倉 聡・佐藤貴弘	山形大工・伊勢化学